

2007年4月26日

駐日米国大使	J・トーマス・シーファー	} 様
在日米軍司令官	ブルース・A・ライト中将	
在日米海軍司令官	ジェームズ・D・ケリー少将	
厚木航空施設司令官	ジャスティン・D・クーパー大佐	
外務大臣	麻生 太郎	
防衛大臣	久間 章生	
防衛施設庁長官	北原 巖男	

町田市長 石阪 丈一

厚木基地における夜間連続離着陸訓練の中止等について（要請）

4月25日、防衛施設庁から、厚木基地において夜間連続離着陸訓練（NLP）が行われるとの通告がありました。この通告によれば、5月8日(火)から11日(金)の4日間、低騒音の機種によるNLPが行われ、硫黄島における天候等の事情により所要の訓練が実施できない場合には、厚木基地において、全機種の訓練を行う可能性があるとのことです。

厚木基地周辺は人口密集地で、日ごろから多くの住民が騒音被害に苦しめられており、この訓練実施は、NLPの厚木基地からの全面移転を強く求めてきた我々の願いに反するものです。

貴職におかれましては、天候等の事情があっても、すべての訓練を硫黄島で実施されるよう（米側に申し入れるとともに、このことについて日米双方で再度調整されるよう）強く求めます。

※（ ）は日本政府側の要請文書に挿入